

# 浮世絵のヒロインたち

組物・続き絵から生まれるストーリー

Ukiyo-e Heroines: Stories Told in Sets of Ukiyo-e Prints



2024年7月9日[火]～9月26日[木]  
北海道立近代美術館 展示室A 1階

「浮世絵のヒロインたち」展は、第Ⅰ期～第Ⅲ期に分けて開催します(作品は総入れ替えとなります)。  
\*第Ⅰ期 7/9(火)～8/4(日) \*第Ⅱ期 8/8(木)～8/25(日) \*第Ⅲ期 8/29(木)～9/26(木)

◎第Ⅰ期展示作品のみ掲載しています。

当館が所蔵する高橋博信氏旧蔵の歌川国貞、歌川国芳、溪斎英泉を中心とした3人の浮世絵師の作品の中から、女性を主役(ヒロイン)としながら、場面設定や文化的・社会的背景との関連の中で、さまざまなストーリーを想起させる作品を、「組物」や「続き絵」を通してご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作時期、年代	技法・材質	判型
1	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 梅好きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
2	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 三升きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
3	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 秀佳きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
4	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 曙山きどり	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
5	歌川 国貞	北国五色墨 (花魁)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
6	歌川 国貞	北国五色墨 (吉原芸者)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
7	歌川 国貞	北国五色墨 (くわえ楊枝の女)	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵
8	歌川 国貞	春待月 娼家の餅花	文化(1804-18)末	木版・紙	大判錦絵 3枚続
9	歌川 国貞	文月 西陣の星祭	文化14(1817)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
10	歌川 国貞	三ヶ月お仙つぼね見せ之図	文化12(1815)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
11	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (手桶美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
12	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (行燈美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
13	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (若衆鬻の女)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
14	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (蚊帳美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
15	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (格子美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
16	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (縁台美人)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
17	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (房楊枝)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
18	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (かげま)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
19	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (こたつ)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
20	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (子守り)	文政2(1819)頃	木版・紙	大判錦絵
21	歌川 国貞	(深川新地 月下の三美人)	不詳	木版・紙	大判錦絵 3枚続
22	歌川 国貞	今風化粧鏡 (合せ鏡)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
23	歌川 国貞	今風化粧鏡 (口紅をさす女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
24	歌川 国貞	今風化粧鏡 (歯を磨く女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
25	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉をかくす女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
26	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉を剃る女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
27	歌川 国貞	今風化粧鏡 (眉を整える女)	文政6(1823)頃	木版・紙	大判錦絵
28	歌川 国貞	江戸自慢 開帳の朝参	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
29	歌川 国貞	江戸自慢 仲の町燈籠	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵

30	歌川 国貞	江戸自慢 山王御祭礼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
31	歌川 国貞	江戸自慢 五百羅漢施餓鬼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
32	歌川 国貞	江戸自慢 花屋敷の七草	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
33	歌川 国貞	江戸自慢 真崎みそぎ	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
34	歌川 国貞	江戸自慢 両国夕涼	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵
35	歌川 国貞	大津絵つくし (鬼の念仏)	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
36	歌川 国貞	大津絵つくし (瓢箪駒)	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
37	歌川 国貞	当世美人合 富士詣ノ夕立	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
38	歌川 国貞	当世美人合 おみらん	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
39	歌川 国貞	当世美人合 江戸芸者	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
40	歌川 国貞	当世美人合 身じまい芸者	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
41	歌川 国貞	当世美人合 かこみ	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
42	歌川 国貞	当世美人合 町芸	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
43	歌川 国貞	当世美人合 辰巳	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
44	歌川 国貞	(当世)美人合 俄	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
45	歌川 国貞	当世三十式相 あづまのお客もうけ相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
46	歌川 国貞	当世三十式相 しばいが見た相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
47	歌川 国貞	当世三十式相 はやりさふ	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
48	歌川 国貞	当世三十式相 たてひき相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
49	歌川 国貞	当世三十式相 りこう相	文政4-5(1821-22)頃	木版・紙	大判錦絵
50	歌川 国貞	七小町 応需見立かよひ	文政3-12(1820-29)頃	木版・紙	大判錦絵
51	歌川 国貞	七小町 応需見立鸚鵡	文政3-12(1820-29)頃	木版・紙	大判錦絵
52	歌川 国貞	集女八景 遠浦帰帆 ふね宿	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
53	歌川 国貞	集女八景 洞庭秋月 (襟白粉)	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
54	歌川 国貞	当世夏景色 朝かほ	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
55	歌川 国貞	当世夏景色 かや商	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
56	歌川 国貞	当世夏景色 水屋	文政10(1827)頃	木版・紙	大判錦絵
57	歌川 国貞	(鬼灯を持つ女)	弘化元-2(1844-45)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
58	歌川 国貞	(お高祖頭巾の女)	天保3(1832)頃	木版・紙	大判錦絵 縦2枚続
59	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) おしゅん伝兵衛 堀川の段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
60	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) 梅か枝源太 無間乃鐘段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
61	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) 梅川忠兵衛 新口村の段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
62	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) お染久松 妹背の門松	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
63	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) お千代半兵衛 宵庚申	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
64	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) おつま八郎兵衛 恨鮫鞘	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
65	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) おふさ徳兵衛 重井筒	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
66	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) 小紫権八 驪山比翼塚	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
67	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) 三勝縁切段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵

68	歌川 国貞	(浄瑠璃づくし) 小春治兵衛 新地茶屋段	文政12(1829)頃	木版・紙	大判錦絵
69	歌川 国貞	江戸八景 木母寺暮雪	文政4(1821)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
70	歌川 国貞	江戸新吉原八朔白無垢の囃	文政5(1822)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
71	歌川 国貞	夕立景	文政8(1825)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
72	歌川 国貞	元柳橋 雪の光景	不詳	木版・紙	大判錦絵 3枚続
73	歌川 国貞	(吉原の花魁たち)	文政後期(1825-30)	木版・紙	大判錦絵 3枚続
74	歌川 国貞、歌川 広重	東源氏雪の庭	安政元(1854)頃	木版・紙	大判錦絵 3枚続
75	歌川 国貞、歌川 広重	東都堀切花菖蒲	安政4(1857)	木版・紙	大判錦絵 3枚続
76	歌川 国貞	六玉顔 (人形遊び)	不詳	木版・紙	団扇絵判錦絵
77	歌川 国貞	六玉顔 (煙管美人)	不詳	木版・紙	団扇絵判錦絵
78	歌川 国貞	紅毛油画名所尽 神田明神	文政後期-天保初期 (1824-31)頃	木版・紙	横大判錦絵
79	歌川 国貞	紅毛油画名所尽 日本橋	文政後期-天保初期 (1824-31)頃	木版・紙	横大判錦絵

## 岩橋英遠《道産子追憶之巻》

IWAHASHI Eien, *Hokkaido Reminiscence*

展示室A 1階

冬に始まり冬に終わる北海道の四季の移ろいを、夜明けから始まり再び夜となるまでの1日の推移と重ね、静かにそして鮮やかに展開していく絵巻形式の大作。20年に及ぶ長い構想の末、完成させた岩橋英遠の代表作《道産子追憶之巻》をご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	岩橋 英遠	道産子追憶之巻	1978-82(昭和53-57)	紙本彩色	60.7×2,908.8

\*寸法は縦×横

# なぜこのかたちなの？

With Kids' 24: Why This Shape?

展示室A 2階

子どもが大人を連れて来たいくなるような美術館を目指して、新たな企画「ウイズ・キッズ」を始めます。テーマは「なぜこのかたちなの？」。ガラスの箱や不思議なカップをご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	アラン・ライス	カップと空飛ぶ円盤の対決	1973	ガラス	23.7×32.7×15.8
<b>はこ、蓋ものなど</b>					
2	山岡 三秋	黒釉いっちゃん箱	1954(昭和29)	陶磁	9.3×15.1×6.7
3	宮下 貞一郎	呉須絵三つ重ね	1960(昭和35)年頃	陶磁	21.5×11.0×17.5
4	宮下 貞一郎	六角香合	不詳	陶磁	6.0×6.6×4.0
5	バーナード・リーチ	蓋物	不詳	陶磁	22.2×15.8
6	小森 忍	鉄錆花文瓢注	不詳	陶磁	12.6×20.0×30.0
7	佐藤 潤四郎	三蔵法師舍利器とカバー	舍利器：1980(昭和55) カバー：1984(昭和59)	ガラス：宙吹き、カット	舍利器：8.6×7.8 カバー：14.6×21.2
8	佐藤 潤四郎	薬師寺西塔舍利器	1978(昭和53)	ガラス：型吹き、エンブレイ ヴィング	12.2×16.5
9	エミール・ガレ	南瓜文蓋物	1900頃	ガラス：型吹き、エッチン グ、エナメル彩、金彩	8.9×14.9×13.4
10	小柴 外一	踊り子文香水吹き	1940(昭和15)頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	5.0×5.0×6.2
11	ウイスタリア・リズリー	栓付瓶	不詳	ガラス：型吹き	7.3×9.3
12	アンドレ・テュレ	香水瓶	1950-55年頃	ガラス：被せガラス	10.0×16.2
13	アンドレ・テュレ	香水瓶	1950-60	ガラス：被せガラス	9.5×15.0
14	藤田 喬平	飾筥・十六夜	1982(昭和57)頃	ガラス：金属箔貼付、型吹き	30.0×14.9
15	藤田 喬平	飾筥・海の彩	1980(昭和55)	ガラス：色ガラス粒と金属箔 による装飾、型吹き	20.5×24.0×18.5
16	藤田 喬平	飾筥・竹取物語	1992(平成4)	ガラス、銀：被せガラス、色 ガラス粉と金箔、プラチナ箔 による装飾、型吹き	26.0×29.5×17.0
17	藤田 喬平	飾筥・源氏物語	1983(昭和58)	ガラス、金属：被せガラス、 色ガラス粒と金属箔による装 飾、型吹き	21.5×21.0×24.5
18	不詳	蓋付碗	江戸時代末期	ガラス：型吹き、カット、金 彩、着色	12.7×8.1
19	不詳	菊唐草文蓋物	江戸時代	ガラス：型吹き	12.9×9.0
20	石狩陶園	草花文蓋物	不詳	陶磁	16.6×7.8
21	小樽焼	染付蓋物	不詳	陶磁	9.3×8.2
22	大塚 哲郎	組み木	1980(昭和55)	木	153.0×135.0× 145.0
<b>カップ、グラス</b>					
23	登別窯	抹茶碗	不詳	陶磁	12.5×11.8×6.1
24	登別窯	夫婦湯呑	不詳	陶磁	大：7.3×7.3 小： 6.5×6.4
25	山本 正年	天目茶盃	不詳	陶磁	11.8×6.0
26	藤田 喬平	茶碗	1991(平成3)	ガラス：金箔溶着、宙吹き	14.1×7.3
27	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ティーカップ	19世紀後半	ガラス：被せガラス、型吹 き、エナメル彩、金彩	カップ：9.0×11.0× 7.0/皿：14.5×2.5
28	イタリアの工房	ティーカップ	19世紀末	ガラス：金彩	カップ：10.3×7.5× 12.5/皿：12.9×2.1
29	ルートヴィヒ・モーゼル工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：型吹き、エンブレイ ヴィング、エナメル彩、金彩	7.9×17.1

30	イタリアの工房	ワイングラス	19世紀末	ガラス：色ガラス粉と金箔、 金粉による装飾、ホットワー クによる装飾	9.4×21.6
31	クリス・テデスコ	無題	1973	ガラス	7.5×11.2×25.3
32	赤地 健	波にプカプカ	1973(昭和48)	陶磁	23.0×35.5×1.9
33	森 正洋	六つのカップ	1973(昭和48)	陶磁	12.8×8.3×15.6他
34	ミネオ・ミズノ	無題	1973	陶磁	8.0×17.5×12.0他
35	リサ・ラーソン	無題	1973	陶磁	13.7×13.0×7.7
36	マーガレタ・ローヘルム	家族の肖像	1973	陶磁	15.8×22.1×11.9
37	ジョニー・ロルフ	花縁カップ	1973	陶磁	19.4×11.5
38	マイケル・エドワード・コーン	スペース・カップI	1973	ガラス：被せガラス、カット	11.2×24.0×9.5
39	マイケル・エドワード・コーン	スペース・カップ64番	1981	ガラス：宙吹き、スランピン グ、カット	27.5×51.0×17.5
40	マーヴィン・リポフスキー	パワー・カップ	1973	ガラス：鋳造	14.8×10.0×34.8
41	リチャード・ノットキン	窮地におしこめられたカップ	1973	陶磁、ガラス	20.0×28.0
42	ジェイ・マスラー	街景	1982	ガラス：カット、サンドブラ スト、着色	45.0×20.0
<b>皿</b>					
43	小樽焼	染付皿	不詳	陶磁	11.7×3.0他
44	小樽焼	染付山水文皿	不詳	陶磁	10.2×18.7×2.9
45	蝦夷窯（江戸武焼）	魚形北海道地図深皿	不詳	陶磁	12.3×17.8×4.0
46	柴山 勝	鮑形蟹文器	不詳	陶磁	18.3×27.9×7.0
47	小柴 外一／岩城硝子株式会社	ばら 皿セット	不詳	ガラス：型押し、研磨	大皿1点：30.3×6.0 小 皿6点：(各)14.0×3.0
48	小柴 外一／岩城硝子株式会社	かごめ 皿	不詳	ガラス：型押し	14.8×3.8
49	小柴 外一／岩城硝子株式会社	皿	不詳	ガラス：被せガラス、カット	14.3×14.3×2.3
50	ガレ工房	ラズベリー文皿	1904-14頃	ガラス：被せガラス、エッチ ング	25.0×22.0×5.3
51	マリウス＝エルネスト・サビノ	うにに昆布文皿	1920代	ガラス：彩色、型押し	30.0×7.2
52	山岡 三秋	辛夷文角飾皿	不詳	陶磁	39.6×39.9×7.5
53	宮下 貞一郎	白釉縞鉄絵角皿	不詳	陶磁	42.0×26.4×6.0
54	ベンジャミン・ムーア	パツラ・ボウル	1990	ガラス：宙吹き、被せガラス	51.5×11.5
55	ジョーイ・カークパトリック フローラC.・メイス	フルーツの静物	1994	ガラス：宙吹き、ガラス粉溶 着による着色	49.8×25.1
56	藤田 喬平	大皿・宇宙	1988(昭和63)	ガラス：宙吹き、インカル モ、モザイク・ガラス	66.0×4.0
57	ハーヴィーK.・リトルトン	切断された青い円盤	1981	ガラス：被せガラス、カット	23.0×11.0×10.0他

\*寸法は縦×横、あるいは奥行×幅×高さ



道内各地の特色ある美術館を紹介する「アートギャラリー北海道」事業として開催する本展では、街の発展とともに姿を変えてきた港のすがたをテーマに、苫小牧市美術博物館等のコレクションをご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
1	板東 史樹	小さくて深い空	2019(令和元)	ミクストメディア	10.0×500.0×200.0
2	板東 史樹	苫小牧埠頭西No. 1倉庫(インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より)	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×26.2×26.0
3	板東 史樹	苫小牧西港(インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より)	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×26.0×26.2
4	板東 史樹	苫小牧遠景(インスタレーション「その仔犬をポケットに入れよ、旅を続けよう。」より)	2015(平成27)	ミクストメディア	220.0×31.1×26.2
5	新井 康須雄	樽前山展望	不詳	油彩・キャンバス	53.0×65.2
6	大平 喜彦	フェリーターミナルを望んで	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
7	大平 喜彦	港遠望	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
8	大平 喜彦	漁港好日	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
9	大平 喜彦	漁港夏の日に	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
10	大平 喜彦	商港の午後	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	45.5×55.0
11	横山 順一郎	苫小牧港	1997(平成9)	油彩・キャンバス	91.0×116.7
12	鹿毛 正三	漁港	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	73.0×91.0
13	村上 弥太郎	船のある風景	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	52.7×65.0
14	福井 正治	滞船	不詳	油彩・キャンバス	33.3×53.0
15	本間 武男	夏の日	不詳	油彩・キャンバス	50.0×60.6
16	砂田 友治	勇払原野	不詳	油彩・キャンバス	31.8×41.0
17	菅原 勇	工場地帯への道	1993(平成5)	油彩・キャンバス	162.0×194.0
<b>博物資料</b>					
18	—	潜水用ヘルメット	昭和30-40代		39.0×35.5×42.0
19	—	自記流向流速計	昭和30代		87.0×32.5×55.0
20	—	空撮用カメラ	昭和時代		30.0×30.5×26.8
21	志方 孝之	築港写真	撮影:1953-68(昭和28-43)		60.0×84.7
22	—	絵葉書 ふるさとのみなと 苫小牧港	1988(昭和63)		10.4×26.8
23	吉田 初三郎	苫小牧市鳥瞰図	1953(昭和28)		17.7×49.0
24	吉田 初三郎	苫小牧市鳥瞰図	1950(昭和25)		17.4×49.0
参考	志方 孝之	『砂浜と原野にいでん』	発行:1977(昭和52)		28.3×27.5×2.9

\*寸法は縦×横、または高さ×幅×奥行

no. 1は苫小牧市蔵、参考資料は当館蔵、それ以外は全て苫小牧市美術博物館蔵。